



富小学校評価だより

令和5年6月9日 No.1
富岡市立富岡小学校

皆様には、本年度も学校評価アンケートでたいへんお世話になります。
今年度の学校経営方針をもとに評価項目を決めました。職員の1年間の努力目標になります。子どもたちのよりよい成長に向け、学校・家庭・地域が協働して教育活動に取り組んでいけるよう努力してまいります。
ご覧いただき、7月の第1回学校評価アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

教育目標の達成状況

評価の観点	評価項目 【各項目の評価(A+B)が90%であること】	評価者			
		職員	家庭	地域	児童
みんな仲良く	相手や周りのことをその場に合った考えた言葉遣いができる	○	○	○	○
	自分から進んで挨拶や返事ができる	○	○	○	○
	きまりを守って生活することができる	○	○	○	○
	相手の気持ちが分かり、親切にできる	○	○	△	○
元気に運動	みんなで協力することができる	○	○	△	○
	健康に気を付けて生活することができる	○	○	△	○
	進んで運動し体力を高めることができる	○	○	△	○
	安全に気を付けて生活することができる	○	○	○	○
本気で勉強	粘り強くやり抜くことができる	○	○	△	○
	将来の夢や目標をもっている	○	○	△	○
	主体的に学習に取り組むことができる	○	○	△	○
	学校で学んだことを身に付けている	○	○	△	○
	身に付けたことを活用し、課題を解決できる	○	○	△	○

本年度の具体方針についての評価

評価の観点	評価項目 【各項目の評価(A+B)が90%であること】	方 策	評価者		
			職員	家庭	地域
確かな 学力向上	ICT機器の効果的な活用により学びの充実と“Funglish”の積極的な取組によるコミュニケーション能力の育成を図り、確かな学力の向上を推進する。	・タブレットスキルチェック表を用い、発達段階に応じて、タブレットを効果的に活用していく。 ・英語専科、ALT、支援員と英語でコミュニケーションを図る機会を増やすとともに、Funglish cafeや英語での放送をするなど、日常的に英語に触れる活動を充実していく。	○	○	△
豊かな 心育成	児童にとって居場所と規律のある学級づくりを心掛け、たくましさややさしさを兼ね備えた人間育成を実践する。	・児童が自己有用感をもち、主体的に活躍できる学年・学級経営を行う。 ・「特別の教科 道徳」を核とした、道徳教育の充実を図る。 ・「なかよし月間」「なかよし旬間」を核とした人権教育の充実を図る。 ・児童や保護者が安心できる生徒指導体制、教育相談体制を構築する。	○	○	△
健やかな 体の育成	児童の生命を守ることを第一とし、健康と安全は児童の健全な育成及び活動の充実の基盤であるという認識に立った取組を実践する。	・運動習慣の定着が図れるよう、体育の授業を中心とした、運動を好きになるような環境づくりを行う。 ・栄養教諭を中心とした望ましい食習慣の定着により、健康な体づくりを推進する。 ・新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけの移行に伴う対応を踏まえた、学校における感染症対策を徹底する。 ・日常的に自分の身は自分で守るよう、生活安全指導を繰り返す。また、引き続き、定期的に交通安全について呼びかける。	○	○	△
学校経営の 充実	校長の明確な方針に基づき、教職員が協働して職務を遂行する体制を構築し、社会情勢の急速な変化に対応した学校経営への転換を図る。	・学校評価、学校評議員からの情報収集・分析による課題を明確にする。 ・経営方針や努力点に基づく職員一人一人の役割を自覚させる。 ・各種委員会、学年会等の組織的取組の強化を図る。	○	○	○
教職員の 資質能力の 向上	様々な教育課題に対応する資質能力の向上を図るため、校内研修では限定した内容のみを扱うのではなく、バランスの取れた教職員の職能成長を図る。	・言語指導教室における、通級児の実態に応じた指導による早期の課題解決を図る。 ・一人1授業を通じた指導力の向上、管理職による授業参観と指導・助言の充実を図る。 ・専門性を生かした、教職員間における情報交換、外部講師を招いた研修等を行い、専門的な知識や技能の向上を目指した研修を行う。 ・メンター研修等の資質向上研修と関連させ、教職員相互の情報交換を充実させる。	○	○	△
幼保こ・ 小・中 学校間の 連携の充実	こども園等との連携や小・中学校適正規模・適正 配置基本計画で関連する学校との連携を強化し、義務教育学校9年間を見通した教育課程の滑らかな接続を図る。	・幼保こ小連携推進会議や授業参観を実施する。 ・3小学校(富小・西小・黒岩小)合同の交流会を実施する。 ・小中間における定期的な授業参観を実施する。	○	○	△
家庭・地域・ 関係機関との 連携	PTAや公民館、区長会、地域づくり協議会をはじめ、地域の関係機関・関係団体との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	・Webページや各種便りにより、行事や日常生活、とみさぼの活動等の情報を発信する。 ・教職員でとみさぼの組織や運営方法について周知を行い、見直しをもってコーディネーターに依頼するようにすることで、とみさぼの円滑な活動につなげる。 ・中学校や近隣小学校との交流を通して、情報交換を行う。	○	○	○
教育環境の 整備・充実	本校施設長寿命化改修に向けて、市役所関係部局との連携を密に行い、将来を見通した安全で快適な視点からの学校施設の在り方の具現化を推進する。	・物品等の計画的な購入と学びの環境の充実の促進を行う。 ・教室や教材室以外の場所を整理整頓したり、校務員やSSSに整理整頓を依頼したりする。	○	○	△